



府中二中だより

教育目標 自分らしく しなやかに たくましく
スローガン 笑顔満開の学校

令和 7 年度
9 月 18 日 発行
保護者会号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

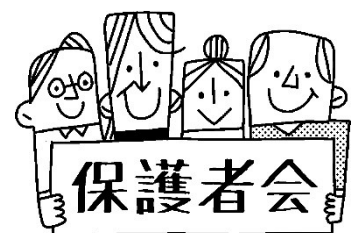
命を守る「しなやかな」対応

長い夏休みが終わり、2学期が始まって保護者の皆さまにおかれましては、少しホッとした気分ではないでしょうか。夏休み中、大きな事件や事故等の報告はありませんでしたが、お子様のことで気になることがありましたら、担任又は学年に御相談ください。

夏休み中に 1 件だけ地域の方からお手紙をいただきました。近隣の公園で放課後の時間帯から午後9時ぐらいまで、サッカーボールを壁に向かって強く蹴ったり、飲食してゴミが放置されていたり、ゲームなどで大声を出しているとの連絡でした。スマ連で注意喚起の連絡をしましたが、特にそれ以降は連絡がありません。保護者の皆さまも子供たちの帰宅時間等にも心を配っていただければと思います。さて話題を変えます。

第一に、今年は観測史上最高に暑い夏になりました。気温40℃超えや猛暑日の更新など、毎日のように流れてくる異常な暑さのニュースにうんざりする日々です。本校では府中市の熱中症予防要配慮期間に合わせ、夏休みから御家庭で柔軟に服装を選択できるようにと、市販ポロシャツを導入し、熱中症予防グッズや日傘、帽子を推奨しました。最近の科学的な調査結果では、コンクリートからの反射熱で、道路上での熱中症が増加していることやシャツの裾を出すことで体温が下がることが取り上げられています。気候変動が健康に与える影響について詳しい、東京科学大学大学院の藤原武男教授は、「子供は体重当たりの体表面積が大きいので、とりわけ暑さの影響を受けやすい。代謝も盛んなため熱生産量が大きく、外的要因をどんどん取り込んでしまう。一方、汗腺が未発達で体温調節力が低いため、失った水分を補う必要を感じにくく脱水になりやすい」として、子供の熱中症は特に要注意との警鐘を鳴らしています。校内でも再三協議して、命を守ることを優先し、夏休みからの変更としました。教育目標に掲げた「しなやかに」は、大人も子供も関係なく、時代変化に即した柔軟な対応を心がけ、能力が十全に発揮できる社会を目指すことを目標とします。

第二に、昨年12月25日に中央教育審議会に諮問が出され、次期学習指導要領の協議が始まりました。先週金曜日にも中教審特別部会で論点整理（素案）が出され、少しずつ具体的な姿が見られるようになりました。ここではその内容は取り上げませんが、子供たちを取り巻くこれからの社会の状況は、不確実性が高まる変化が激しい時代だと言われています。自らの人生を舵取りする、持続可能な社会を創るために多様な他者とコミュニケーションをもつ、などの自己調整や未来を見据えた行動が問われることになります。点数学力だけではない、非認知能力と言われる能力に磨き



をかけることが重要です。その意味において、教員も学習内容や学習方法を見直す必要があります、子供たちも時代に即した学び方を身に付ける必要があります。そして保護者の皆さまも「学力」という価値観を変える必要性があり、得意な分野や関心のある分野をいかに伸ばしてあげるかを考え、将来にわたって自信をつけ、堂々と社会を生き抜いていける素地を作ってあげる必要性があります。最近では、15歳や18歳でバーンアウト（燃え尽き症候群）するケースが増加しています。受験勉強に力を尽くしすぎ、その後の目標がないことや失敗して自信が揺らいでしまう現象だそうです。実は今年度から都立高校の改革として、深沢高等学校が「柔軟できめ細かな教育課程や教育相談体制を充実させた新たなタイプの高校」としてスタートします。大きな変更は、新たな入試方法の導入で、多様な生徒に対応するために、学力検査と調査書の比率で10:0を採用して選考できるという制度です。検討中の部分もありますので、今後の動向に注目したいと思います。

ともあれ、これから長い人生を生きていく子供たちです。我々が中学生の頃と時代が変化しました。「昔はこうだった、自分はこうしてきた」は禁句です。私たち大人も未知の時代に突入していく上では、子供たちと対話しながら世の中を創る以外に方法はありません。大人が主体性をもって、子供たちの未来を保障する世の中になることを願っています。

（保護者会 9月8日）

二中学生の活躍（敬称略）

- | | |
|------|------------------------------|
| 田中碧乃 | 2025 産経ジュニア書道コンクール 特選 |
| | 第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 日本武道館賞 |
| | 第47回千字文大会展毛筆賞候補 特選 |
| 白倉巧都 | 2025 産経ジュニア書道コンクール 秀作 |
| | 第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 金賞 |

各種校内会議

健全育成会議（9月12日） ※委員より

- 地域、保護者とも夏季休業中に大きな事件・事故の報告はない。
- 二中学生はボランティア活動をよくやってくれる。とても感謝している。
- 警察からは二中学区への出動はほとんどなかった。
- 消防からは、救急車の連絡がなかなかつながらない時は、消防署朝日出張所にかけてもらおうと、早くつながりこともできる。緊急の場合は知っておいてほしい（夏の熱中症時期などはつながりにくかった）。

学校運営協議会（9月16日） ※委員より

- 授業態度は落ち着いている。上級生は自信をつけているように感じる。
- 薬物が身近になっている感じで、使用や売買等に手を出す生徒もいる（高校全体の問題）。
- コロナ時に導入されたタブレットが適切かつ有効に使われているか。数年前とあまり変わってないように感じる（使っているから良い、ということではない）。
- 生徒の登下校の荷物の問題を検討してもらえないか。かなり重く体調にも関わる。
- 不登校対策として、サポートルームが大きい影響を与えているのではないかと。先生方がよく声をかけてくれて、保護者の安心感にもつながっている。
- 部活動などの報償費はどうなっているか…ほとんど遣い切っている状況。
- 委員長がヒアリングを行い、年度末に市教委へ報告を行う参考にしたい。